

## 宮崎県立看護大学研究紀要投稿規程

### 1. 本紀要の目的

本学における研究の質の向上に資することを目的とした、研究成果の発表の場とする。

### 2. 投稿資格

投稿者は本学の名誉教授、専任教員または大学院生とする。ただし、本学専任教員との共同研究者および研究紀要委員会(以下、委員会とする)が認めた者については、この限りではない。

### 3. 研究倫理の遵守

人を対象とした研究については、「ヘルシンキ宣言」および日本看護協会「看護研究における倫理指針」、文部科学省・厚生労働省・経済産業省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、など研究倫理に関する指針を遵守する。原則として、投稿者が所属する施設の研究倫理審査委員会の承認を得る。また、倫理的配慮については、論文中に項目を立てて記載する。加えて、利益相反(COI)についても、有無や内容を記載する。

### 4. 投稿原稿の種類

投稿原稿の種類と内容は以下のとおりとし、未発表のものに限る。

#### 【論文】(Article)

主題に関連した調査と分析を論述したもの、研究の総括など

#### 【報告】(Report)

実践や調査研究など報告に資するもの

### 5. 原稿の執筆要領

1) 原稿は和文ないし、英文とする。A4判用紙に横書きとし、MS-Wordを用いる。上下・左右に25mmの余白をとる。和文原稿の場合は10.5ポイントのMS明朝全角を用い、1頁あたり40字×30行で作成する。論文中の句読点は「,」(全角カンマ)および「。」(全角句点)とする。英文原稿は12ポイントのTimes New Romanを用い、1頁あたり250語を目安にダブルスペースで作成する。なお、原稿内で使用する英数字と記号は半角とし、英単語の間と記号の後には、半角のスペースを入れる(ただし、ハイフンと括弧の場合を除く)。

2) 原稿の制限頁数は本文、図表、文献を含めて【論文】は15頁(18,000字相当)以内、【報告】は10頁(12,000字相当)以内を原則とする。図表は各々の大きさに応じて1/4(300字)、1/2(600字)、1頁(1,200字)相当に換算する。

3) 要旨は目的、方法、結果、結論の内容を含め、簡潔に記載する。原稿の1枚目に和文要旨(600字以内)とキーワード(5語以内)を記載する。

【論文】の場合は、2枚目に英文要旨(300語以内)とキーワードを記載する。

4) 本文は、1. 序論、2. 対象と方法、3. 結果、4. 考察、5. 結論を目安に適宜項目を立て、見出しを付ける。項目番号は、1., 1.1, 1.1.1, …, の順に使用する(例えば「1. 序論」では、半角ピリオドの後に半角スペースを入れる)。本文に続いて謝辞、利益相反状態、文献の順に記載し、最後に図表を添付する。利益相反(COI)がない場合も「開示すべき利益相反はない」などの文言を記載する。

5) 英文はあらかじめ ネイティブ・チェックを受けておく。

6) 外国語の単語(人名, 学名, 薬物名, 商品等)は原語で記載する。単位は国際単位系を用いる。

#### 7) 図表および写真

図, 表, 写真は A4 用紙 1 枚に 1 つとし, 図 1, 表 1, 写真 1 (Fig. 1, Table 1, Photo 1) などと通し番号を付ける。タイトルと説明は, 図と写真は下に, 表は上に記載する。挿入希望位置を本文の右欄外に示す。

論文に他の人の図表を転記する場合は, 著作権の所有者より転載許可を得て, そのコピーを提出するとともに, 図表の下に出典を明示する。また, 本人であると判断できるような写真を掲載する場合には, その許可を得たことを示す文書のコピーを添付する。

#### 8) 文献

##### 巻末の文献の記載方法

(1) 著書名(共著の場合は, 第一著者)の姓によるアルファベット順に列記する。

(2) 同一著者に「単独」と「共著」の文献があった場合には, 「単独」文献を先にし, 次に「共著」文献を並べる。

(3) 同一著者においては, 刊行年次に早い文献から順に並べる。

(4) 同一著者で刊行年次が同じ文献は, 発行年にアルファベットをつけて, これらの文献を区別する。なお, 本文中の記載においても同様とする。

例) 2012a, 2012b

(5) 文献の掲載方法は下記に従う。

文献の著者が 3 人までは全員, 4 人以上の場合は 3 人までを記載し, 4 人目以降は省略して「, 他」または「, et al.」とする。

(6) 巻末の文献を記載する際, 複数行にわたる場合は, 2 行目以降を 2 文字分下げる。

#### ① 雑誌の場合

著者名(発行年): 論文表題, 雑誌名, 巻(号), 最初頁-最終頁.

例) 薄井坦子, 三瓶眞貴子, 山岸仁美, 他 (2002): 宮崎県立看護大学における教育課程の構造とその評価, 宮崎県立看護大学研究紀要, 3(1), 1-9.

例) Davidhizar, R. E., Austin, J. K., MacBride, A. B. (1986) : Attitudes of patients with schizophrenia toward taking medication, Res Nurs Health, 9(2), 139-146.

#### ② 単行本の場合

著者名(発行年): 表題, 書名, 編者, 版, 最初頁-最終頁, 出版社.

例) 薄井坦子(1997): 科学的看護論, 第 3 版, 3-18, 日本看護協会出版.

例) Henderson, V. A. (1991) : The nature of nursing: a definition and its implications for practice, research, and education: reflections after 25 years, 9-33, National league for nursing press.

#### ③ 翻訳書の場合

原著者名(原著発行年)/ 訳者名(翻訳書発行年): 翻訳書名(版数), 最初頁-最終頁, 出版社.

例) Walker, L. O., Avant, K. C. (2005)/ 中木高夫, 川崎修一 訳(2008): 看護における理論構築の方法, 7-79, 医学書院.

#### ④ 電子文献の場合

##### a. DOI がない学術論文

著者名(発行年): 論文名, 誌名, 巻(号), 最初頁-最終頁. [改行]

Web サイト(URL) (年/月/日アクセス)

##### b. DOI がある学術論文

著者名(発行年): 論文名, 誌名, 巻(号), 最初頁-最終頁. doi: xxxx/xxxx

#### ⑤ 公的な Web サイトに掲載されている刊行物の場合

著者名(公開年): 表題. [改行]

Web サイト(URL) (年/月/日アクセス)

例) 厚生労働省(2014):平成 24 年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況.

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/dl/info03\\_h24\\_00.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/dl/info03_h24_00.pdf) (2015 年 3 月 3 日アクセス)

#### ⑥ 新聞記事の場合

著者名: 記事タイトル, 新聞名, 掲載年月日, 朝夕刊, 該当面.

例) 中島嘉克: 接種記録 大量誤データなぜ, 朝日新聞, 2021 年 12 月 29 日, 4 面.

(著者名が不明なときは, 記事名から記載する)

#### 本文中における引用文献の記載方法

本文中に著者の姓, 発行年次(西暦)を括弧表示する。直接引用の場合は, 引用部分を「」でくくり, その後に(p. )と引用ページを記載する。

##### ① 著者 1 名の場合

例) 鈴木(2018)は小児科病棟における・・・を明らかにしている。

例) 看護師は,・・・と関わっていたことを明らかにしている(鈴木, 2015)。

##### ② 著者 2 名の場合(3 名の場合も同様の形式とする)

例) 鈴木, 田中(2017)は, 小児外来における・・・を明らかにしている。

例) 看護師は,・・・と関わっていたことを明らかにしている(鈴木, 田中, 2015)。

##### ③ 著者が 4 名以上の場合

例) 鈴木, 田中, 吉田, 他(2017)は, 小児外来における・・・を明らかにしている。

例) 看護師は,・・・と関わっていたことを明らかにしている(鈴木, 田中, 吉田, 他, 2015)。

##### ④ 同一著者の複数の文献の場合

例)・・・と述べている(石川, 2014; 2016)。

##### ⑤ 著者の異なる複数の文献を引用する場合

例)・・・と言われている(渋谷, 2017; 谷川, 2018)。

##### ⑥ 直接引用の場合

例) 鈴木, 田中(2017)は,「小児外来における」(p. 30)と述べている。

#### 6. 原稿の提出先

投稿原稿は図表を含めて Word ファイルにまとめ(要旨・本文・図表), 原則としてメールに添付して申請(提出)する。なお, 頁番号は序論から文献までを通し番号とし, 各頁の下中央に記入する。

メールの宛先は [kiyo@mpu.ac.jp](mailto:kiyo@mpu.ac.jp) とし, 投稿者はメールの送信記録を残す。申請時には, 申

請シートと投稿チェックリストの書式を学内	2006 年 2 月改定
ポータルよりダウンロードして記入し, 原稿と	2007 年 3 月改定
ともに添付する。修正原稿を提出する場合は、	2009 年 2 月改定
申請シートと合わせて提出する。何らかの事情	2010 年 3 月改定
で郵送を用いる場合は、次の宛先に送付する。	2011 年 3 月改定
〒880-0929 宮崎市まなび野 3 丁目 5 番地 1	2012 年 3 月改定
宮崎県立看護大学 研究紀要委員会事務局	2015 年 3 月改定
	2017 年 3 月改訂
7. 原稿の受付	2021 年 3 月改訂
投稿原稿について、書式等に問題がある場合	2022 年 3 月改訂
は、査読前に修正を求めることがある。そのた	2023 年 3 月改訂
め、受付日は修正が完了した時点となる。	

#### 8. 採否および掲載順序

原稿掲載の採否は、査読者の判定を参考にして委員会が決定する。受理された最終原稿は、あらためて Word ファイルとしてメール添付で提出する。図表を用いる場合は、編集が可能な Word や Excel のファイルも添付する。原則として受理した順に掲載するが、編集の都合上順序を変更することもある。

#### 9. 校正

原則として、著者校正は初校までとする。その際の大幅な加筆訂正はできない。

#### 10. 著作権

本紀要に掲載された原稿の著作権は、本学に属する。本学はこれらの著作物を本学のリポジトリと J-STAGE に登録する。また、他の出版物への転載等の利用については本委員会の利用許可を受ける必要がある。著作物利用申請書を学内ポータルよりダウンロードして記入し、本委員会に提出する。

論文番号： -

## 「宮崎県立看護大学研究紀要」申請シート

投稿日	20 年 月 日 ( )
原稿の種類	論文 ・ 報告
和文題目	
英文題目	
キーワード (5 語以内, 日本語/英語)	1. / 2. / 3. / 4. / 5. /
著者名 (日本語/英語)	
著者所属 (日本語/英語)	
原稿枚数	本文 枚 (序論から文献まで)
図・表・写真	図 ( 枚) / 表 ( 枚) / 写真 ( 枚)

編集処理用 (事務局記載)

初回・修正 回目

受付日：202 年 月 日 受理日：202 年 月 日

## 「宮崎県立看護大学紀要」投稿チェックリスト

投稿前に以下の項目について確認してください。確認できた項目の行頭にある□を■に書き換え、日付と投稿者の氏名を記載したうえで、本文と合わせてメールで投稿してください。

- ☐ 投稿資格を満たしている。
- ☐ 投稿原稿の内容は、他の出版物にすでに発表あるいは投稿していない。
- ☐ 共同研究の場合、投稿に関しては共著者全員の承諾を得ている。
- ☐ 投稿規程を確認し、原稿の執筆要領に従って記載している。
- ☐ 原稿は本文・図表・文献を含めて、論文は15頁（18,000字相当）以内、報告は10頁（12,000字相当）以内である。
- ☐ 和文原稿は1頁40字×30行で作成している。1枚目には要旨(600字以内)と、下にキーワードを記載している。原稿の種類が「論文」の場合は、2枚目に英文要旨(300語以内)とキーワードを記載している。
- ☐ 英文原稿は1頁250語を目安にダブルスペースで作成している。1枚目には英文要旨(300語以内)と、下にキーワードを記載している。
- ☐ 要旨は目的、方法、結果、結論の構成になっている。
- ☐ 本文は序論、対象と方法、結果、考察、結論の構成になっている。
- ☐ 序論から文献までを通し番号とし、下中央に頁番号を入れている。
- ☐ 倫理的配慮については、本文中に具体的内容を記載している。
- ☐ 利益相反状態を適正に開示している（利益相反の有無や内容）。
- ☐ 英文はネイティブ・チェックを受けている。
- ☐ 転載許可が必要なものは、承諾を得てコピーを添付している。
- ☐ 本文中の文献の引用方法は執筆要領の例示通りに記載している。
- ☐ 申請シートに必要事項をすべて記載している。
- ☐ 投稿原稿、申請シート（修正原稿を提出する場合も必要）、投稿チェックリストを準備している。

上記につきまして、すべて確認しました。

202    年    月    日

氏名\_\_\_\_\_